

# 会 議 録【 概 要 】

件 名	第1回大網白里市健康増進計画審議会
期 日	平成27年8月26日(水)13時30分～14時45分
場 所	中央公民館 2階 研修室
出席者	氏原 康之、和田 美昭、柳堀 朗子、伊藤 和代、津田 孝子、上代 もと、大木 順子、大野 由記子、奥倉 努、齋藤 勝
欠席者	なし
事務局	健康増進課 松戸課長、伊藤副課長、佐藤主任栄養士、川寄主任保健師、古内主任主事 産業振興課 鶴岡課長 コンサルティング会社 調査員
配付資料	別添のとおり

## 会 議 内 容

### 【1 開会】

《配付資料の確認》

#### ○事務局

本審議会は基本的に公開の形式をとり、大網白里市健康増進計画審議会傍聴要領に基づき開催します。第1回大網白里市健康増進計画審議会を開会します。

### 【2 市長挨拶】

《金坂市長より挨拶》

### 【3 委嘱状の交付】

《委員10名へ委嘱状交付》

### 【4 委員及び事務局紹介】

《委員 10名の自己紹介及び事務局 紹介》

### 【5 会長及び副会長選出】

《大網白里市健康増進計画審議会条例第5条第2項の規定によって、委員の互選により会長に柳堀朗子委員、副会長に氏原康之委員を選出》

### 【6 市長より諮問】

《金坂市長より柳堀会長に諮問書提出》

## 【7 議題】

### ○事務局

大網白里市健康増進計画の策定にむけた背景・趣旨を説明します。

本計画は、大網白里市第5次総合計画を上位計画として、保健福祉分野で関連する各種計画と連携を図りながら策定します。

栄養・食生活、身体活動・運動、休養・心の健康、飲酒、禁煙、歯・口腔の健康、生活習慣病予防などについて、協働により総合的かつ効果的に健康づくり活動を推進するための指針とするものです。なお、健康増進計画策定は、食育推進計画と相互の関連性が高いために、効率性の観点からも一体的に策定することとします。

計画期間は、平成28年度から37年度の10年間としますが、5年で見直したいと考えています。

国の計画である健康日本21の第2次計画、また、健やか親子21と、県の計画である健康ちば21第2次計画と基本的な方向は同じとします。

続いて、計画策定スケジュールを説明します。健康増進計画策定スケジュールに沿って調査・素案作成・原案作成を進めていく予定です。審議会・検討委員会は、全4回を予定しています。第2回目は、10月～11月の間に予定していて、調査結果の速報値を報告予定です。また、素案検討として、基本理念、基本目標、施策体系について審議いただく予定です。第3回目は原案検討として、具体的な事業を検討していただく予定です。第4回目は、その原案を確認し決定という流れとなっています。

その他として、原案について議会説明後、パブリックコメントを予定しています。

アンケート調査については、健康増進及び食育推進に関する意識や生活実態などを総合的に把握するための基礎資料として行うものとなります。

調査は、平成27年4月1日現在に20歳以上の一般市民1,500人を対象とし、9月の11日～28日を実施期間としています。設問としては50問程度で作成しています。

## 《質疑応答》

### (1)大網白里市健康増進計画の策定にむけた背景・趣旨

#### ○委員

計画の位置について、国の計画を取り除いた理由を教えてください。

#### ○事務局

国の計画を取り除くのではなく、国・県、両方の計画を勘案しながら進めていく予定でいます。県の計画を参考資料としたのは、イメージ的に捉えていただこうと思って配付しました。

#### ○委員

国の基準は、5つの柱になっているので、参考にしたらどうでしょうか。

#### ○事務局

検討します。

## (2)大網白里市健康増進計画策定 スケジュール

### ○委員

平成28年1月の第3回審議会で原案検討と具体的事業と記載されていますが、計画の中に具体的事業として予算と併せて位置付ける予定ですか。

### ○事務局

具体的事業とは、あくまで方向性を示すものであり、実施計画的なものではなく、方針として取り扱うものです。

## (3)健康づくりにかかるアンケート調査について

### ○委員

調査対象を20歳以上にした理由と、対象地区を5地区にした理由を教えてください。それと、視覚障害者の方が対象になった場合、点字の調査票を送付してもらえるのでしょうか。

### ○事務局

健康に意識をするのは、成人からという想定で対象年齢20歳以上で設定しました。

対象地区5地区にした背景には、保健師の事業状況など5地区分類というのが集計結果を計画に反映させやすいと判断して5地区にしました。

調査対象者は無作為抽出のため、視覚の障害があるかどうか確認がとれません。対象者から点字対応等の申し出があった場合は、適宜対処することとします。

### ○委員

回収率はどのぐらい見込んでいますか。

### ○事務局

本市で実施している各種アンケート調査は、概ね30～40%の回収率になっていますので、本調査も40%前後回収できるよう目標としています。

### ○委員

問3「居住地区」が、かなり詳細となっていますが必要でしょうか。

### ○事務局

回答は5地区という形としているものの、転入者等で自分がどの地区に該当するかがわからないという意見もあったので、詳細地区を記載した次第です。

### ○委員

問い合わせ先に、メールアドレスを追加すべきではないでしょうか。

### ○事務局

ご意見のとおり、メールアドレス追記します。

### ○委員

集計について、どのような想定をしていますか。調査の回収率40%を見込んだ場合、地区ごとだと少数になってしまうと思うのですが、どのような集計をしてしていくのでしょうか。

○事務局

今回、回収率が40%と想定すると、回答数が600ぐらいになると思います。性別に分けた場合は、概ね250～300となります。したがって、性別に関しては有意の数字、意味のある数字がとれます。

年代に関しては、調査対象は5歳単位となっておりますが、実際には10歳単位に考える予定なので、性別・年代別では、大体50前後の回答数が見込まれます。回答数が50あれば、有意の数字とみなせるので、性・年代までは客観性のあるデータと考えています。

ブロック別については、保健師の活動事業と対応した形ということを考えていますので、そういった数字として意味のある数字がとれると思っています。

○委 員

問11「がん検診」は、様々ながん検診がありますが、すべてひとくりにしているのですか。

○事務局

設問数の問題もありますので、がん検診ひとくりにする予定です。

(4)その他

○事務局

2回目の審議会は、10月中旬～11月中旬開催予定としています。

**【8 閉会】**